



【韓国】 総合指数は週間で 0.04%安と 3 週ぶりに小反落、ハイテク株に売り

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 0.04%安と小幅ながら 3 週ぶりに反落。節目の 2500 ポイントを挟んだ一進一退の展開となった。前週末の米株高の流れを引き継ぎ週明け 8 日は続伸し、2500 ポイントに乗せたが、9-11 日は軟調な推移となり、再び節目を割り込んだ。南北関係会談が 9 日に始まり、重要イベント通過の材料出尽くし感で利益確定売りが膨らんだ。時価総額上位のサムソン電子の 2017 年 12 月期連結営業利益速報値が市場予想に届かなかったことも売り材料。ほかのハイテク銘柄にも失望売りが波及し、相場を押し下げる要因となった。12 日は米市場の反発を受けて買い戻しが入ったものの、節目回復には至らなかった。今週も 2500 ポイントを巡る攻防か。18 日には主要貿易国の中国が 10-12 月期の GDP 成長率を発表する。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は週間で 3.4%高と 3 週続伸、今週は原油高継続で堅調か

先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で 3.4%高と 3 週続伸。8 日が休場で 4 営業日の取引となったが、海外株高と原油高に支援され、2014 年 8 月以来の 1260 ドル台を回復した。OPEC 加盟国を中心とした協調減産継続に加え、米国の原油在庫が予想以上に減少したことなどを手掛かり材料にブレント原油先物が 2014 年 12 月以来の 70 ドル超えとなり、エネルギー株への買いが続いた。指数は休場明けの 9 日にプラスで寄り付いた後、12 日まで続伸し、12 月下旬からの連騰が 13 営業日に伸びた。12 日は前日比 1.0%高の 1261.07 ドルと高値引け。個別では前週に相場をけん引した石油資源関連のルクオイルが 9.5%高と 2 週連続で上昇率 1 位となり、指数を押し上げた。今週は原油高継続ならば堅調か。3 週続伸の反動で、短期的な調整も想定される。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 3.7%高と 4 週続伸、今週は短期的な調整も想定

定

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 3.7%高と 4 週続伸。前週末までの 3 週続伸の流れを引き継いだ。売り買いを交えながらも上昇し、前週に続き 2007 年 11 月以来の高値を更新。前週までに発表された堅調な経済指標に加え、好調な企業決算が好感された。金融株と原油高を好感したエネルギー株に加え、不動産株が指数を押し上げた。指数は週明け 8 日に 1004 ポイント台まで下落したが、その後は上げ幅を拡大し、12 日まで 5 日続伸した。12 日は前場に 1057.88 ポイントまで上値を伸ばしたが、後場に上げ幅を縮小し、前日比 0.2%高の 1050.11 ポイントで取引を終えた。個別では商業施設運営のビンコムリテールが 17.0%高、その親会社のビンググループが 6.8%高となり、指数を押し上げた。今週は短期的な調整も想定されるが、堅調継続か。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.3%高、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 0.3%高と反発。国内の重要イベントが少なく、6400 ポイントを挟んだ小幅なレンジでもみ合った。週初の 8 日は前週後半に上昇した流れを引き継ぎ、終値ベースで過去最高値を更新したものの、9 日は反動で売られて 4 営業日ぶりに反落。10 日も小幅に続落したが、11 日は金融株が指数上昇をけん引し、再び最高値を塗り替えた。12 日は利益確定売りで反落して取引を終えた。今週は 15 日発表の 12 月の貿易統計に対する市場の反応が焦点になるほか、18 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合の開催を予定している。政策金利は 4 会合連続で 4.25%に据え置かれるとの見方が優勢。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.9%高、今週は 17 年 12 月の非石油地場輸出発表

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.9%高と 3 週続伸。3500 ポイント台での取引で、おおむね堅調に推移した。週初の 8 日は前週末に下落した反動で金融株と工業関連株が買われ、反発してスタート。9 日も続伸したが、10 日に反動で売られると 11 日も続落した。一方、12 日は 17 年 11 月の小売売上高が前年同月比 5.3%増と市場予想を大幅に上回り、3 カ月ぶりに増加に転じたことが好感され、反発して取引を終えた。今週は 17 日に 17 年 12 月の非石油地場輸出が発表される予定で、前年同月比の増加率は 8.5%になると見込まれている。外部要因では中国の経済指標のほか、原油先物が高値を維持できるかが焦点。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.8%高、終値ベースで 1800 ポイントに到達

SET 指数は週間で 0.8%高と 7 週続伸。週後半の上昇が奏功した。週初の 8 日は生活必需品株とエネルギー株が下落し、指数は小幅ながら 5 営業日ぶりに反落。10 日まで一進一退が続いたが、11 日に終値で 1800 ポイントに到達し 4 営業日ぶりに過去最高値を更新すると、12 日は前日の NY ダウが反発した効果でエネルギー株と金融株が買われ、続伸して週の取引を終えた。今週も国内の重要イベントが少なく、前週末の NY ダウが 2 日連続で最高値を更新したことが勢いの継続につながるかが焦点。18 日に発表される中国の 17 年 10-12 月期の GDP や 12 月の鉱工業生産が市場予想から上振れすれば追い風になる。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.3%高、約 1 年半ぶりのリング高を好感

クアラルンプール総合指数は週間で 0.3%高と 7 週続伸。週末の反発が指数を支えた。週初の 8 日は前週の NY ダウが好調だったことに加え、原油価格の上昇が好感されてペトロナス系 2 社が指数上昇をけん引したが、9 日に利益確定売りで 5 営業日ぶりに反落すると 11 日まで 3 日続落。11 日に発表された 17 年 11 月の鉱工業生産は前年同月比 5.0%増と市場予想から上振れしたものの買い材料にならなかった。一方、12 日は原油高に連動して為替相場で米ドルに対するリングが約 1 年半ぶりの高値を付けたことを受け、反発して取引を終えた。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が株式相場を左右しそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。